



発行元: 林 文夫事務所 〒470-0224 みよし市三好町湯ノ前103番地 TEL: 0561-41-8272 / FAX: 0561-41-8273 Mail: hayashi230@rapor.jp

ご挨拶

秋冷の候、皆様方に於かれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は議員・議会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて令和5年9月定例議会は、9月27日の開会から10月19日の閉会日まで23日間の日程で開催されました。会期中は、本会議場での一般質問と、警察委員会では副委員長として委員長と共に慎重な審査に向け、委員会運営を行いました。

「県政だよりvol.7」は県の主な取り組み、一般質問の内容と市内における県事業の実施状況などを掲載させていただきますので、ご一読いただければ幸いです。

市民・県民の皆様が住み慣れた地域で、生き生きと笑顔で暮らせるみよし市・愛知県を目指し、誠心誠意努めてまいります。これからも皆様方のご指導ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。 愛知県議会議員 林 文夫

ジブリパーク第2期エリアの開園日が決定!!

愛・地球博記念公園の「ジブリパーク」では、第1期3エリアに続き、現在整備を進めている2エリアの開園日が、

「もののけの里」は2023年11月1日(水)

「魔女の谷」は2024年3月16日(土) に決定しました。

映画「もののけ姫」に登場する和風の里山の風景をイメージした「もののけの里」では、体験学習施設「タタラ場」において愛知県・奥三河地域を始めとする中部地方の山間部発祥の郷土料理「五平餅」作りを体験できる(税込1,200円)ほか、「乙事主」(おっこことぬし)の遊具では、子ども達が滑り台として遊ぶこともできます。

単独券に変更

●青春の丘・ジブリの大倉庫

	大人	4歳~小学生
平日	3,000円	1,500円
平日休	3,000円	1,500円
休日	3,500円	1,750円

※チケットの種類と料金(税込)の変更内容

今回新設

●もののけの里・ジブリの大倉庫

	大人	4歳~小学生
平日	2,500円	1,250円
平日休	2,500円	1,250円
休日	3,000円	1,500円

●青春の丘

	大人	4歳~小学生
平日	1,000円	500円
平日休	1,000円	500円
休日	1,000円	500円



▲もののけの里



▲魔女の谷

© Studio Ghibli

運転免許更新を予約制度に!!

免許更新の平準化による更新時間の短縮と会場周辺の混雑緩和を目指します。(※高齢者講習受講済みの方は予約対象となりません)

予約受付開始: 令和6年1月15日

予約更新開始: 令和6年3月19日

更新完了までの流れ



物流における課題への対策について

物流は、それが滞れば多くの人が生活に不自由してしまうほど、国民にとって欠かせない重要な機能です。一方で、人手不足や労働生産性の低さ、労働環境の悪化といった課題に直面しており、何も対策を講じなければ、今のように運べなくなる可能性があるといわれていることから質問しました。



宅配における再配達削減取組について

問 宅配における再配達削減取組について、地球温暖化対策の観点から、県民の意識改革・行動変容を促すため、県として現在どのように取り組んでおり、今後どのように取り組むのか？

答 弁 2021年度の県政世論調査では、宅配便を1回で受け取るよう取り組んでいると答えた方は15.9%に留まっております。このため、県では、市町村と連携して実施する県民の意識改革と脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促す「あいちCOOL（クール）CHOICE（チョイス）」県民運動の取組の中で、宅配の再配達削減についても幅広く呼びかけをしています。

こうした中、環境省が温室効果ガスの削減に向けて、再配達削減を始め消費者の行動変容を促す取組を行っており、これに加え、新たに物流業界の人手不足が懸念される「2024年問題」への緊急対策として、宅配の再配達率を半減させる方針のもと、関係省庁により具体的な検討が進められています。

県といたしましては、こうした国の動向を注視しながら、イベントや商業施設へのブース出展等において、市町村や宅配事業者等と連携し、より効果的な呼びかけを行うなど、再配達削減の取組を強化することにより、県民の意識改革・行動変容を促してまいります。



環境局長

想 い 増加する宅配便は、受取人の不在などにより、約12%が再配達になっています。再配達によって年間約25.4万トンものCO2が排出されており、この数値は2030年に年間約50.3万トンと増加する可能性も指摘されています。こうしたことから、県内市町村と連携した、再配達削減方針の策定や、宅配BOX購入補助制度の新設等、県がリーダーシップをとり、積極的な再配達削減の取組が必要と考えます。

宅配のラストワンマイル共同配送について

決められた地区への各社の荷物を宅配事業者1社に集約して配達する共同配送は、積載率を向上させると共にCO2排出量、ドライバーの人数削減等、再配達に係る負担は削減されます。また荷受人にとっても複数の荷物を一度に受け取ることができ、それぞれにメリットがあります。しかし実現には配送エリアの規模や地元の受託事業者の方々の仕事の確保、送り状番号と配達状況の共有、独占禁止法への抵触の恐れなど様々な課題が想定されることから質問しました。

問 県として、(仮称)地域別宅配のラストワンマイル共同配送実現会議を立ち上げ、想定される様々な課題の洗い出しと解決策の検討をし、「地域別宅配のラストワンマイル共同配送」の実験の実施による推進の考えは？

答 弁 国では、過疎地域における担い手不足や貨物量減少・積載率低下といった課題対応のため、共同輸配送等を促進する方策について、検討を行っております。

また、民間事業者間で一部地域における共同配送のトライアルが実施されるなど、実証に向けてさまざまな取組が進みつつあります。

しかしながら、宅配の共同配送の実現には、伝票や料金体系などの統一や、荷物を集め保管するための共同物流センターの確保、時間指定等に係る臨機応変な対応や、どの事業者がどの地域を担当するかなど、事業者間で調整すべき課題が多くあります。

本県といたしましては、国の政策動向を注視するとともに、ラストワンマイルを支える運送事業者のご意見なども伺いながら、御提案のありました地域別宅配の共同配送を含めた物流の効率化の方策について研究してまいりたいと考えております。

愛知県版「(仮称)物流改革に向けた政策パッケージ」の策定について

物流はつながっており、荷物が出荷されるファーストワンマイル、中・長距離を移動する基幹輸送、荷物が到着するラストワンマイル。これらがリンクしてこそ物流革新が実現するとの考えから質問しました。

問 愛知県での物流における課題への解決に向けた対策を示す、愛知県版「(仮称)物流革新に向けた政策パッケージ」を策定すべきと考えますが県の考えは？

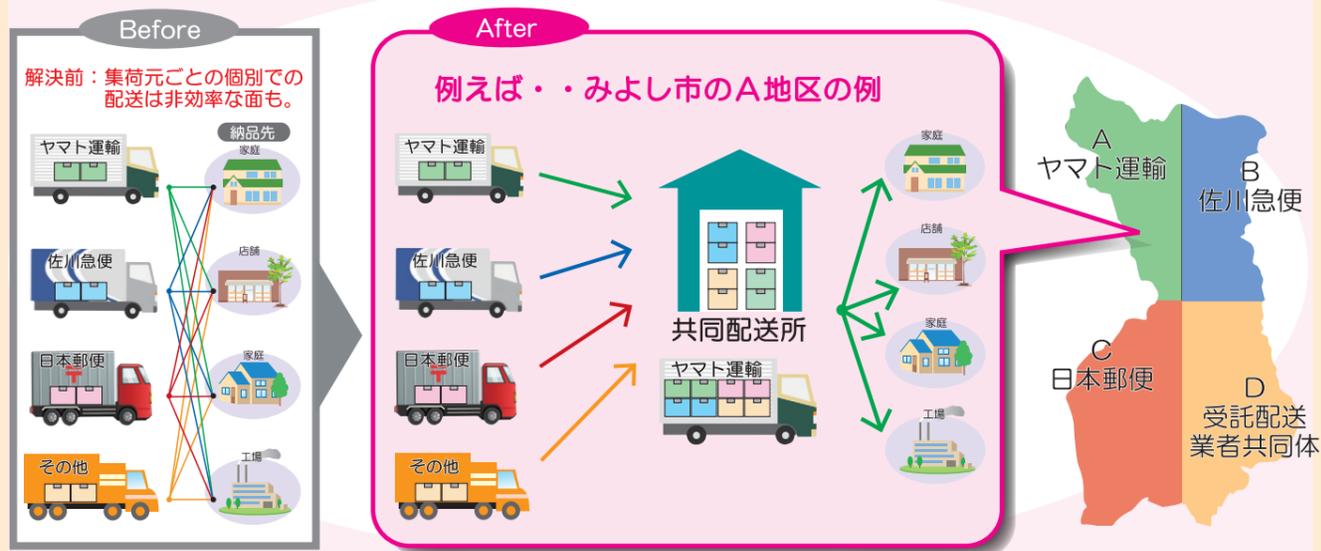
答 弁 「2024年問題」への対応として国は、「物流革新に向けた政策パッケージ」を策定し、商慣行の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容について総合的な対策をまとめております。この問題について本県では、国の対策も踏まえながら、県民の方々に対して宅配の再配達削減をお願いする広報活動、ドローンの実証実験等物流DXの推進、また、運輸事業者等の人材確保を支援するための合同企業説明会の開催など産業、労働、環境等の各分野で様々な対策を行っております。

2024年問題を始めとする物流の課題解決に向けて、こうした取組を着実に進めながら、国の政策展開や物流事業者の要望等も踏まえ、本県の総合的な物流対策のあり方について、愛知県版の政策パッケージの策定も含め検討してまいりたいと考えております。



経済産業局長

想 い 私が提案する「地域別宅配のラストワンマイル共同配送」は、例えば、みよし市を四つの地域に分け、A地区はヤマト運輸が、B地区は佐川急便が、C地区は日本郵便が、D地区は受託配送業者共同体が担当し、各エリアに届く各物流企業の荷物をそれぞれの共同の倉庫に荷物を一括納品し、そこから決められたひとつの企業のトラックで全て配達する。(下図参照)



大きな改革が求められる物流にあって、ラストワンマイルの取組は重要です。実現にむけては、宅配企業の方々のご理解ご協力が必要であり、私がお伺いした宅配大手3社は、共同配送の必要性を共有しています。そのため、具体的な課題と解決の仕組みやアイデアの洗い出し、実現に必要な規則や法整備、財政的支援などを協議する調整会議から始める。まずはその一歩を踏み出すことが必要であり、「日本一の産業集積・愛知」から、(仮称)愛知の物流革新に向けた政策パッケージ」を発信することが重要と考えます。

あいち森と緑づくり事業について

県民に多くの恩恵をもたらす森と緑を県民共有の財産として、将来に引き継いでいくことが必要と考え、その財源となる「あいち森と緑づくり税」を用いた「あいち森と緑づくり事業」の内、みよし市でも活用している、都市緑化推進事業及び環境活動・学習推進事業について質問しました。

問 あいち森と緑づくり事業の第2期における都市緑化推進事業及び環境活動・学習推進事業のこれまでの成果について、また、今後、どのように取り組んでいくのか？



答 弁 (知事答弁要旨) 県民の皆様からいただいた「あいち森と緑づくり税」を財源に、山から街まで緑豊かな愛知の実現を目指し、2009年度から10年計画で人工林や里山林の整備、都市緑化や環境活動・学習等の推進、普及啓発などに取り組んでまいりました。今年度は2019年度から始まる第2期の事業計画期間の中間年にあたることから、事業評価を行い、この5月に公表しました。事業評価では、本事業について県民の皆様から高い評価をいただき、また「あいち森と緑づくり税」の継続についてもご理解をいただいたところです。



知事

こうした評価結果を踏まえ、この9月議会で「あいち森と緑づくり税」の課税期間を2028年度まで5年間延長する議案を提出しております。

事業評価では、環境活動の取組の一層の促進、都市の緑を守り育てる取組の継続を含め、事業内容に対する様々な御意見もいただいておりますので、県民の皆様のご期待にお応えできるよう、事業内容を十分に検討したうえで、引き続き「山から街まで緑豊かな愛知」の実現を目指し、あいち森と緑づくり事業を一層推進してまいります。

想 い 緑は、環境改善、防災、景観形成など様々な機能を持ち、特に都市の緑化は快適で健康的な生活を営むために欠かせないため、都市の緑を保全する。また、地域の人々、特に子ども達が森や緑などに触れ合いながら自然環境の大切さについて学ぶことにより、環境を守ることを考え、行動することの出来る人づくりにつなげていくことが必要と考えます。



都市・交通局長

9月議会補正予算

みよし市での重点要望箇所の対策が行われます

- 二級河川境川
(西一色町地内)
河川内の樹木伐採
通学橋上流300m



今年度実施予定



- 二級河川小石川
(黒笹町地内)
河川内の樹木伐採
大力池橋下流350m



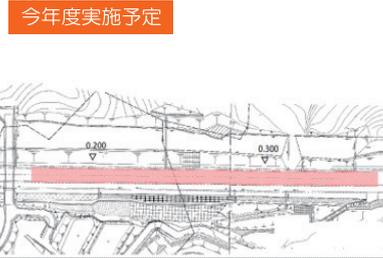
今年度実施予定



- 主要地方道豊田知立線
(福谷町地内)
舗装修繕
30mバイパス200m



今年度実施予定



愛知の休み方改革

休み方に関する課題認識

- ・国民が一斉に休みを取るため、質の高い休暇を楽しむことができない
- ・親が祝休日に仕事をしていることも多く、家族と一緒に過ごす時間がつくりづらい
- ・日本の産業、特にサービス産業は、繁忙差が大きく生産性が低い

愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

- ・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進
- ・休暇を取得しやすい職場環境づくり
- ・家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり
- ・平日や閑散期への観光需要のシフト
- ・地域が一体となった「休み方改革」の推進



愛知の「休み方改革」を全国に発信し 日本全体の観光需要平準化を促進

全国に影響力を持つ観光業界のオピニオンリーダー等と連携し、愛知県「休み方改革プロジェクト」の取組を広く発信することで、県外にも「休み方改革」を通じた観光需要の平準化を促していきます。



愛知県「休み方改革」プロジェクト特設サイト

あいちアール・ブリュット障害者アーツ展

芸術・文化活動を通じて障害のある方の社会参加と自立を促進するとともに、県民の皆様へ障害への理解を深めていただくため、名古屋市内において「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を開催しています。

「あいちアール・ブリュット展」が10周年を迎える今年度は、来年1月にみよし市で「あいちアール・ブリュット・サテライト展」を開催しますので、多くの市民の皆様にご鑑賞いただき、障害のある方の「芸術のチカラ」を直に感じていただきたいと思います。

みよし市で
「あいちアール・ブリュット・サテライト展」を開催!
(みよし市 カネヨシプレイス)
2024年1月17日(水)~21日(日)

*障害のある方の芸術的な才能の発掘にご協力をいただいている民間事業者と連携し、展示作品から原画を選定して、企業がノベルティグッズを制作する取組も行っております。

あいちアール・ブリュット 障害者アーツ展 2023

入場無料

「あいちアール・ブリュット」から選ばれた優秀作品30点の原画を特別に企業に提供し、ノベルティグッズを制作します。

「あいちアール・ブリュット・サテライト展(みよし市)」
2024.1.17(水)~1.21(日) カネヨシプレイス

「あいちアール・ブリュット・サテライト展(豊川市)」
2024.2.6(水)~2.11(日) 豊川市総合コミュニティセンター

「あいちアール・ブリュット 優秀作品特別展」
2024.3.12(水)~3.17(日) 愛知県芸術文化センター